

所 信 表 明 書

令和4年10月10日

氏 名 那 須 保 友

誇りと希望の学都・岡山大学
～不易流行の経営改革～

学都構想は千葉喬三、森田潔、槇野博史学長が提唱・推進・実質化されてきました。私は、それらがゆるぎなく持続的に発展し続けることを次期学長候補として掲げます。そのためには「不易流行の経営改革」が必要と考えます。

不易流行は松尾芭蕉の俳諧の理念であり、時代が変わろうとも不変なもの・変えてはいけないもの（不易）と、時代の変化、社会の要求や期待に応える形で変化させていかねばならぬもの（流行）と定義します。

大学法人経営での不易流行を以下に示します。

不易：

岡山大学に関わる過去・現在・未来の人々（マルチステークホルダー）の持続的で多様な幸せ（well-being）の実現を追求

流行：

社会情勢を見極め、国立大学法人として政策や地域の思いを先取りし先導する
改革・人材育成・教育研究

【具体的な取り組み】

1) 教育

学生は非常に大切なステークホルダーであり、大学の一体的な誇りと希望を醸成する中心的存在です。入学から卒業後も続く「岡大愛（帰属意識）」の醸成は本学の発展に重要で、教職員の「帰属意識」に裏打ちされた「学生愛」が放たれる場づくりも同時に推進します。DXによる入学前から卒業後も継続する教学エンロールメントマネジメント構築に投資を行います。

不易：学修者主体の高度専門・全人的教育

流行：新学習指導要領の対応、質保証体制の構築、DX やリカレント教育の推進

2) 研究

研究大学として注力してきた若手研究者支援や研究専念環境等の研究力強化に加

え、共創の場や学外人材との連携等の充実を強力に推進します。

不易：若手、中堅、シニアが感動と高揚感を感じ誇りと希望をもち、研究に打ち込める場

流行：政策や地域等の連携による「岡大でしか成し得ない研究」の強力な推進

3) 経営・財務・医療

財源の多様化は、法人の経営基盤に必須です。既に関連大型資金の獲得と様々な施策を推進しており、今後も全学展開します。病院は地域医療の要であるとともに他を先導する教育研究臨床の場の強化、国からも評価の高い診療報酬に依存しない取組を推進し、法人経営強化の一翼を担います。

不易：強固で自律的な法人経営基盤の確立、マルチステークホルダーとの信頼に立脚した緊密な連携、地域医療の要

流行：政策や地域等と連携した経営、絶えず医療の要である為の病院改革

4) 適切なリスクマネジメント (ERM) とガバナンス体制による大学法人経営力強化

リスクを経営目標を達成する影響要因とポジティブに捉え実施した「大学全体のリスクマネジメント体制 (ERM: Enterprise Risk Management)」は学内外から高く評価されました。全国初のERM推進大学として、新たな価値創造に果敢に挑戦していく組織風土を醸成します。

5) 教職員の人事労務マネジメント強化

「国立大学経営改革促進事業」を通じて、ウォーターフォール型からアジャイル型とのハイブリッドな働き方と組織への転換を進めた結果、効率の向上、帰属意識の醸成、達成感の獲得、対話の推進等の効果が得られつつあり、国や地域からも高い評価を得ています。これを全学に拡充します。さらに心理的安全性が確保され、学生・教職員が資質・能力を十分に発揮し大学の未来をともに創る一員として主体性を持ち活躍できる組織風土を醸成します。

私が学長として選出されたならば、学生・教職員は言うに及ばず、岡山大学に関わる過去・現在・未来の方々の物心両面の幸せ (well-being) を追求した大学法人経営を推進し、岡山大学が地域と地球の課題解決を通して人類社会の持続的発展に貢献する「誇りと希望の学都」を目指します。